

泉丘SSHだより

石川県立金沢泉丘高等学校

コスモサイエンスII特別講義

金沢大学理工学域の先生方による特別講義が行われました。2つのグループに分かれ、光に関する講義や実験を行いました。コスモサイエンスIIの最後の特別講義とあって、生徒たちも積極的に取り組んでいました。

《講義1》 光の性質を探る ～光のスペクトルと光の色、物質の色～

講師 金沢大学 理工学域・数物科学類 藤竹正晴准教授
金沢大学大学院 自然科学研究科 田村秀さん、小川大貴さん

《講義2》 光の性質を探る ～光の速さを測る～

講師 金沢大学 理工学域・数物科学類 鎌田啓一教授
金沢大学 理工学域・数物科学類 佐藤政行准教授
金沢大学大学院 自然科学研究科 近藤史親さん、田村かおりさん



【生徒感想】

- ・色の反射とか吸収とかが、話に聞いていただけだったのが、実際に見ることができてよかった。
- ・光が粒子であるというのは意外だった。
- ・光の吸収、放出の様子を調べることで、様々なことがわかると知り、感動した。
- ・蛍光色はただの黄色、オレンジ、・・・というような色の一種だと思っていたけど、そこから”光も粒子である”ということにつながっていたと知ってとても驚いた。
- ・小さいときから見てきた色の興味深さを知るよい機会になった。
- ・光速を測定して実際の速さを知ることができて、 $3 \times 10^8 \text{m/s}$ というものが身近になった。
- ・光速なんて自分たちで測れるのかと思っていたが、実際に近い値が出て面白かった。
- ・一見原始的に見える実験こそ、原理を知るのに適している。

サイエンス・イングリッシュ特別講義

今年度最後はサイエンス・イングリッシュの特別講義で締めくくられました。今回の特別講義は(独)日本学術振興会のサイエンス・ダイアログ事業を活用させていただき、北海道大学で研究を行っているDr. Guy Williamsに全て英語による講義と実験をしていただきました。

演題 **Antarctic Bottom Water** (南極底層水)

講師 Dr. Guy Williams (北海道大学 低温科学研究所)



【生徒感想】

- 英語を話そうとすると慣れていないのでやはり緊張する。慣れる機会を増やすためにもこのような講演会を増やせばよいと思う。
- 日本人の先生の講義は聴いたことがあったけど、外国人の先生の講義も聞いていい経験になった。
- 英語が速くて聞き取れない部分がほとんどだったが、事前学習でワードリストを予習していたおかげで聞こえてきた単語から何となくだけれど、話の内容を理解することができてよかった。事前学習は大事だなと思った。実験が楽しかった。
- 今までにない分野の講義でしかも英語でのものだったので、新鮮で面白かった。専門的な所はあまり聞き取れなくて残念だったけど、もっと難しい講義でも楽しめる程の英語力を身につけたいと思った。
- 思ったよりも理解できたし、質問もできたのでよかった。でも英語での講義なのだから自分から進んでもっと英語を使うようにしたかった。

コスモサイエンスI

10月に開講したコスモサイエンスIの全ての講義が終了しました。講義を聞いただけで終わらせず、講義や実習を通して学び取った知識や経験を活かし、今後の学習活動や進路選択に役立てて欲しいと思います。



※詳しくは『コスモサイエンスIだより集』を御覧ください

【生徒感想】

- 授業ではできない、科学を実際に体験したりできたことで、理科に対する興味が湧いてきて良かったと思う。
- 普段授業では学べないことが沢山あったので、将来を考えるうえで参考になった。
- 今まで見たことも聞いたこともないようなものばかりで、科学はすごく奥が深いものなのだ改めて実感した。そして興味がより湧いてきた。
- 理数科の特色みたいなものがでていて、非常に面白かったし、後半になるとレポートも苦にならなくなったのでより楽しむことができた。
- 様々な分野の講義・実習を受けることができて、自分の視野が広がった。
- 色々な分野の経験ができたし、それまでに興味がなかった分野でも講義を受けることによって、新たに興味が湧いたことも多かった。話を聞くだけでなく、実験をして、諸事象を実際に目にすることが大いに好奇心を育てるのだと思う。

コンテスト参加者募集!!

来年度の科学系コンテストの募集がまもなく開始されます。募集に先立ち、物理チャレンジは実験課題がホームページに公開されています。全国の高校生たちと自分の力を比べる良いチャンスです。ぜひTRYしてください。

《全国物理コンテスト「物理チャレンジ」》 ホームページで実験課題公開中!

- 参加申込期間 平成21年4月1日(水)～4月30日(木)
- 第1チャレンジ ●実験課題レポート : 平成21年5月25日(月) 消印有効
●理論問題コンテスト : 平成21年6月14日(日) **本校で開催**
※第1チャレンジの参加には、参加申込みが必要です。
※レポートとコンテストの総合評価にて第2チャレンジに進む約100名を選抜
- 第2チャレンジ ●理論問題コンテスト、実験問題コンテスト(各5時間)
日時: 平成21年8月2日(日)～5日(水) ※3泊4日の合宿形式
場所: 筑波大学および高エネルギー加速器研究機構(茨城県つくば市)
- ホームページ <http://www.phys-challenge.jp/>

《全国高校化学グランプリ》

- 参加申込期間 平成21年5月18日(月)～6月19日(金)
- 一次選考 ●筆記試験: 平成21年7月20日(海の日) 金沢大学角間キャンパス
※筆記試験の結果によって80名を選抜
- 二次選考 ●合宿形式で実験試験
日時: 平成21年8月22日(土)・23日(日)
場所: 京都大学
- ホームページ <http://gp.csj.jp/index.html>

《あこがき》今年度もあとわずかになりました。すでに来年度に向けた計画が進められています。海外研修も業者選定作業に入っています。コンテストの申込も始まります。SSH活動が『楽しかった』だけでなく、もっと実りある成果を挙げるために、そして自分自身を磨き実をつけるためにも、コンテストに参加して欲しい、そして英国研修にも・・・と思います。成果は成果でも・・・今年もリントインに『製菓』が届きました。理数科の1年生と2年生の女子生徒が持ってきてくれました。それも手作り!(^^)!この『製菓』が『成果』に変わり進路目標を達成できるよう頑張ってください。SSH推進室の先生方も皆さんの成果を期待しています。